

■坂根田鶴子 日本初の満映・共栄圏唯一の女性映画監督ながら、戦後は助監督すらなれずに終わった。

さかねたずこ

日露戦争始・1904 = 京都市で、染織関係の発明家として知られた坂根清一と佐久間しげの子に生まれる。

日露戦争終・1905 = 1歳：

満鉄発足・・1906 = 2歳：佐久間家の戸主となる。

幼少時から芝居や映画に親しむ。兄・弟と妹2人。

大逆事件判決1911 = 7歳：今出川幼稚園を卒え、中立小学校に入学、

明治天皇没・1912 = 8歳：

大正政変・・1913 = 9歳：

ロシア革命・1917 = 13歳：卒業し、京都府立第一高等女学校に入学。

原敬首相暗殺1921 = 17歳：

水平社結成・1922 = 18歳：卒業し、同志社女子専門学校英文科に入学。

関東大震災・1923 = 19歳：

護憲三派圧勝1924 = 20歳：妹穂子が急死、母も体調悪かったため、中退。この頃から謡、鼓、油絵などを習う。

治安維持法・1925 = 21歳：母が死去し、父が再婚。医師と見合い結婚するが間もなく離婚。

円本時代始・1926 = 22歳：自宅静養。

世界恐慌・・1929 = 25歳：父が日活で繊維関係の発明奨励映画となる「絹の帝国(栄冠)」の製作を開始、

海軍軍縮条約1930 = 26歳：日活太秦撮影所現代劇監督部入社。溝口健二の下に配属され、「ふるさと」でスクリプター(記録係)、カットの長い溝口作品を的確に記録し、「唐人お吉」以降、助監督も兼ねて、大きな役割を果たして行く。

満州事変・・1931 = 27歳：父が第二作「発明行進曲(暁の歌)」、

五一五事件・1932 = 28歳：溝口に従い、新興キネマ太秦を経て、入江プロに移る。日活のラジオドラマ「細君解放記」の演出助手。

国際連盟脱退1933 = 29歳：監督昇進が内定するが実現せず。

帝人疑獄事件1934 = 30歳：父が第三作「発明日本の女性」。溝口に従い日活東京に入社、監督昇進内定、脚本を書上げるも実現せず。

芥川賞始1935 = 31歳：溝口に従い第一映画に移る。

二二六事件・1936 = 32歳：「初姿」を監督して、*ようやく日本映画初の女性監督となる。

日中戦争始・1937 = 33歳：第一映画解散で、新興キネマ東京撮影所へ移り、大塚女子アパートメントに住む。

その後、再び助監督に留まっていたが、

大政翼賛会・1940 = 36歳：*溝口のもとを離れて、理研科学映画に入社、「北の同胞(アイヌ)」撮影のため北海道で長期ロケに入り、

日米開戦・・1941 = 37歳：理研の自主規制でお蔵入りの危機、上司大宅壮一のサポートや増強しロケで乗り越え、封切。

・・・・・1942 = 38歳：転進した大宅追い、満州映画協会(満映)に入社。啓民映画「こどもの満洲」「勤労的女性」「健康的小国民」。

創価学会検挙1943 = 39歳：*代表作「開拓の花嫁」ほか、「野菜の貯蔵」「暖房の焚き方」、

年金+総武装 1944 = 40歳：「室内園芸」「春の園芸」。関東軍委託「救急法ノ基本」。ニュース映画「酒石酸製造」、

敗戦・・・・1945 = 41歳：「寒地生活」後、「美しき国土満洲」脚本製作中に敗戦となり、中国の東北電影公司創立とともに、文化新聞科構成演出員として入社、「中ソ友好国民大会」「東北電影新聞第一号、第二号」、。

新憲法公布・1946 = 42歳：*「同第四号、第五号」後、引揚げ。溝口のコネで、松竹京都撮影所編集課記録係主任となる。

三大事件・・1949 = 45歳：

朝鮮戦争始・1950 = 46歳：右京区吉田中大路に転居し、戦争未亡人とその娘とともに暮らし始める。

独立回復・・1951 = 47歳：「戦争未亡人」映画のアイデアを暖めるが実現せず。

以後も、松竹京都で多くの作品の記録係をつとめながら、

55年体制始・1955 = 51歳：京都鳴滝に自宅を新築。

国連加盟・・1956 = 52歳：父に続いて、師溝口も死去。「暮らしの窓」(新日本放送)に出演。

イストラマ・1958 = 54歳：

安保闘争・・1960 = 56歳：大阪中央放送局「面影をしのぶ溝口健二」に出演。

全国総合計画1962 = 58歳：定年切下げのため_退社、

_以後、大映で依頼された時だけスクリプターをつとめるが、

美濃部都知事1967 = 63歳：

ドショック・・1971 = 67歳：_大映倒産で引退し、

石油ショック1973 = 69歳：

ケアンズ事件1975 = 71歳：「ある映画監督の生涯溝口健二の記録」出演し、小野恵美子の聞き書きに応じた後、胃がんのため_没した。

池川玲子「"帝国"の映画監督 坂根田鶴子」、「日本の女性」、